

令和8年6月15日

令和9年度実施試験に向けた対策講座の全体計画について（ご案内）

沖縄教職研究会

標記のことについて、次のとおりご案内いたします。

1 なぜ、今、この「ご案内」か

- ① 文部科学省は、全国の都道府県・政令指定都市教育委員会に対し、令和9年度に実施する教員採用試験から、第1次試験（教養、専門教科）を「共同実施」したらどうか呼びかけています。
いわば、かなり開きはありますが、「大学入学共通テスト」の教員採用試験版です。
- ② 共同実施に参画する（共通問題を利用する）かどうかは、各自治体に任されています。
- ③ 共同実施する場合、試験日は次の3日程で合意されています。
5月8日（土）、6月12日（土）、7月10日（土）／第2土曜日
- ④ 共同実施する場合、全国共通となる試験問題の作成は民間の業者が行い、参画する自治体は費用を負担します。
文部科学省はモデル問題を公開しており、第1次試験は、すべて択一式（マークシート）です。
教養試験の試験時間、問題数については次のとおりです。
 - ㊦ 試験時間 60分
 - ㊧ 問題数 一般教養10問+教職教養30問程度
- ⑤ 文部科学省の資料によると、この呼びかけに沖縄県は参画の意向を示しているようですが、今のところ、県教委から公式な方針が示されていません。

2 沖縄教職研究会のこれまでの対策講座

- ① 第1次試験に向けて、7月～翌年4月までの10か月間、教職教養予想問題を作問し、毎月お届け（通信講座）。
- ② 第2次試験に向けて、対面による2次対策講座を実施（対面講座）。

3 沖縄教職研究会のこれからの対応の基本

- ① 沖縄県教育委員会が方針を示した後に、令和9年度実施試験に向けた対策講座の全体計画をご案内いたします。
- ② 検討資料を見る限り、沖縄教職研究会がこれまでに作問してきた教職教養の問題で十分対応できるものと考えております。
さらに、沖縄教職研究会が作問してきた教職教養予想問題は、沖縄県の20数年分の過去問に加え他府県の膨大な過去問をも机上において作問してまいりました。
- ③ 共同実施に参画する場合でも、各自治体の判断で独自の問題を追加することが認められています。沖縄県特有の「県・県教委施策」は共同実施の問題には含まれない公算が大きいため、沖縄県独自で「沖縄県教育振興基本計画」「学校教育における指導の努力点」などの施策に関する問題を追加するかどうか、注視が必要です。
いずれにしても、県教委の方針に準拠して対策講座を展開してまいります。
- ④ 2次対策講座は従前のおり、対面（教室）で行います。

4 県教委の方針がなかなか示されない場合の沖縄教職研究会の対応

- ① 令和9年度実施試験の第1次試験は、常識的に考えて来年（令和9年）の5月～6月ごろと想定されます。
- ② 検討資料を見る限り、沖縄教職研究会がこれまでに作問してきた教職教養の問題で十分対応できるため、「県・県教委施策」に関する問題は割愛して作問し、通信講座の募集をかけます。いつまでも待つわけにはまいりません。
書店等で現物を手にすることができないため、教職教養予想問題の見本をHP上でお示しいたします。
- ③ 沖縄県が共同実施に参画し、その上で仮に独自で「県・県教委施策」に関する問題を追加するとなった場合、このことが明らかになった時期によっては特集を組んで作問し、お届けいたします。
- ④ 2次対策講座は従前のおり、対面（教室）で行います。